



# 横浜みどりアップ計画 地域緑のまちづくり事業

## R E P O R T

●地区名 **みなとみらい21  
新港地区**



◎所在地:中區新港1丁目、2丁目、  
桜木町1丁目

◎取組期間 **5** 年

◎協定締結期間

平成 **25 ~ 29** 年度

### 横浜みどりアップ計画とは

緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、「横浜みどり税」を一部財源として活用しながら、「横浜みどりアップ計画」を進めています。

詳細は...

### 地域緑のまちづくり事業とは

地域が主体となり、住宅地や商店街、オフィス街、工場地帯など様々な街で、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、市民との協働により緑化を進めるものです。

詳細は...

●団体名 **みなとみらい21新港地区緑のまちづくり協議会**



地区の範囲図及び緑化実施場所

### 団体・地区の概要

みなとみらい21新港地区緑のまちづくり協議会は一般社団法人横浜みなとみらい21の環境対策委員会をベースに組織され、新たに進出した企業等を加えて協議会を構成しております。みなとみらい地区の魅力の一つである「海」や「広々とした空」と同様に、緑化においても魅力を感じさせる仕掛け(ヒューマンスケールの緑)を充実させる必要性から、平成22年から本事業の計画策定に向けて取り組みを始めました。

みなとみらい21地区は区域面積が186haと広大であるため、本事業においては「中央地区」、「新港地区」、「横浜駅東口・中央地区」の3地区に分けています。この新港エリアは赤レンガ倉庫や自動車など歴史的資源を有した新港地区と、みなとみらい21地区の玄関口である桜木町駅周辺を合わせた、観光客と商業施設が多く集まる地区です。

### 取組(計画)の概要

「価値のある緑と花を増やし、みなとみらい21地区の景観と調和した環境を整備する」ことをコンセプトに、以下の2つの方針を掲げ計画に取り組みます。

- 方針1 ヒューマンスケールの緑化(緑花)の質と量を向上させる。
- 方針2 緑と花が溢れる街の維持管理のしくみを構築する。



アニヴェルセルみなとみらい横浜(16街区)での緑化



運河パーク（植替え活動場所）の様子



マリン&ウォーク横浜（4街区）での緑化



グランドオリエンタルみなとみらい（11-2街区）での緑化



アニヴェルセルみなとみらい横浜（16街区）での緑化



新港中央広場（8街区）の様子

## 主な取組み実績

助成金額合計：57,333千円

### ■ 民有地緑化

結婚式場や商業施設の外周部や沿道等で緑化を推進!

主要歩行者動線沿いにヒューマンスケールの緑を増やしていくことを目的に、民有地での緑化計画の検討を重ね、新たにオープンした結婚式場のグランドオリエンタルみなとみらい（11-2街区）やアニヴェルセルみなとみらい横浜（16街区）、2016年に新たに開業した商業施設のマリン&ウォーク横浜（4街区）において、外周部や沿道等で、壁面緑化や季節感のある樹木の植栽などの緑化整備を実施しました。



### ■ 活動支援

市民ボランティアと植替え作業を実施しました!

ボランティア参加の市民やNPO法人の皆さんと共に運河パークにある花時計の植栽の植替え作業を年2回程度行いました。また、1年間の地区内調査をもとに、みなとみらい3地区合同で、地区内で目にするのできる植物や生き物をまとめた「みなとみらい水と緑の生き物ガイドブック」を制作しました。

### ■ 公共施設緑化

新港地区の特徴である広い空や海を感じられる場所であること、歴史的にも重要な建築物である赤レンガ倉庫などが眺められる場所であること、スケール感を持たせることが出来る場所等を検討した結果、これらの条件を満たすことの出来る新港中央広場（8街区）を候補として選定し、主要園路より北側部分で緑化整備を実施しました。

## 5か年の取組みを振り返って

新港地区ではコンセプトに基づき、主要な歩行者動線で来街者が魅力を感じる水辺空間に沿った変化のある緑化整備を行いました。緑化整備を行った事業者からは、「壁面緑化など来街者に興味を持ってもらい喜ばれている」との声や、「施設のコンセプトにマッチしているので、植栽が魅力づくりにとても寄与している」との声が聞かれました。今回の緑化整備が地区での緑によるまちづくりのきっかけとして、今後も企業同士のつながりなどを意識して地区全体で取り組んでいきます。

### 【問合せ】

横浜市環境創造局みどりアップ推進課

【TEL】045-671-3447

【FAX】045-224-6627

【Mail】ks-ryoka@city.yokohama.jp